

ゲスト審査員の声

ゲスト審査員とは？

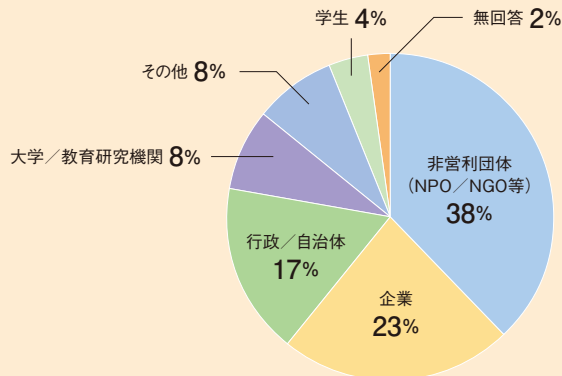
より多くの方に、全国のトップランナーの取り組みを知っていただくため、観客の視点から「地球温暖化防止のための活動」を評価していただくという試みの元、温暖化対策に係る専門の方々をはじめ、広く一般の方に「ゲスト審査員」を公募しました。（公募期間：2017年12月～2018年1月頃まで）

ゲスト審査員は、ファイナリスト30団体すべてのプレゼンテーション発表を観覧し、最も感銘を受けた2団体へ投票することができます。当日は多くの方にゲスト審査員として審査いただき、投票の結果「オーディエンス賞」2団体が決定いたしました。

審査方法

- ・ファイナリスト30団体すべてを見て、審査をする。
- ・全団体の中から、“地球温暖化防止のための活動”として最も感銘を受けた2団体を選び投票する。
- ・得票数の結果、上位2団体にオーディエンス賞を授与する。

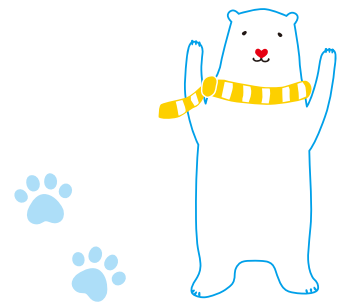
ゲスト審査員の属性



n=48

ゲスト審査員票で選ばれた「オーディエンス賞」！ ～ ランキング5位までの団体ご紹介 ～

順位	団体	所在地
1	草津市立渋川小学校	滋賀県
2	米子工業高等専門学校 物質工学科谷藤研究室	鳥取県
3	認定NPO法人芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館	東京都
4	岩手県立遠野緑峰高等学校	岩手県
5	越谷市立大袋東小学校	埼玉県
	NPO法人循環生活研究所	福岡県



感想

- ・それぞれ地域特性に即した取組と感じました。参考にさせていただきます。低炭素杯、続けていって欲しいと思います。
- ・どれももったいない精神のある良い発表でした。若い世代から年配の方までの3世代の取組に関心を持ちました。生ごみから作ったバイオガスが聖火になる話はとても心に残り、東京オリンピックに是非採用して欲しいと思いました。
- ・30でも多いと感じるくらい内容が濃いので、ファイナリストは各部門5つくらいに絞るとよいと思いました。もっと一つ一つをしっかりと聴きたかったです。
- ・どの活動の内容も素晴らしいものである。さらに各プレゼンに工夫がなされ、より理解できました。特にジュニ・キッズ・学生たちのプレゼンに感心しました。
- ・小学生・中学生の環境の取組みに感動しました。特に地球のことを考えるためには、まず人とのつながりを大切に、感謝の気持ちを育てることが大切なのだと感じられました。自分たちが出来ることで環境を考えていく取組みが素晴らしいと思います。
- ・ESD、SDGs、COOL CHOICEといった、昨年まであまり聞かなかったようなキーワード出て、出ただけでなく理解も実践も深化・進化したものが（特に子供たち）多く驚きました。楽しかったです。ありがとうございました！
- ・技術的なものから人々に意識改革を促す活動など様々な団体があり、見ごたえのある発表でした。キッズ・学生の取組みが企業・産業に取り入れられ、連携・販売につながっていて、とても興味深く感じました。